

カエルなどのなかま

※「大きさ」は成体の体の長さ。頭からお尻まで
(幼生の写真はほぼ実寸大)

両生類であるカエルやサンショウウオのなかまは、春先に水辺に卵を産み、初夏にかけて水中で幼生（オタマジャクシ）として育ちます。成体になると森や草むらに隠れてしまうので、見つけやすい春先に水辺でさがしてみましよう。

指 エゾアカガエル ★★

場所 卵・幼生：林内や林のそばの水辺
成体：水辺や林内

時期 卵：3～5月、幼生：4～7月

大きさ 4.5～7cm程度

- ♪産卵期になると水辺で集まったオスが盛んに鳴く。
- ♪赤茶色の体をしているが、環境によって色は薄くなる。



卵



幼生



- ♪幼生は落ち葉や動物の死がいを食べる。サンショウウオに食べられることもある。
- ♪後足から先に生えてくる。

エゾサンショウウオ ★★

場所 卵・幼生：林内や林のそばの水辺
成体：水辺、林内

時期 卵：3～5月、幼生：4～6月

大きさ 尾を含めて4.5～7cm程度

- ♪卵はらせん状の透明なまくに包まれている。
- ♪幼生は首のあたりにエラが目立つ(➡)。
- ♪夜行性でカエルに比べて成体はめったに見られない。



卵

変態直前



ふ化10日後



幼生

- ♪前足から先に生える。

★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

他にも、こんなカエルがいます! 本州から持ち込まれた外来種も増えています。

ニホンアマガエル ★★

場所 水辺、草原、林のふち

時期 卵: 4~8月、幼生: 5~9月

大きさ 2~4.5cm程度



♪水辺から離れた所でも見られる。

♪環境に合わせて体色を変える。

幼生



♪ヒレはたてに長い。目は横につく。

ツチガエル **外来種**

場所 市内では南部・東部・中央部の水辺 (豊平川・真駒内川・月寒川・厚別川など)

時期 卵: 5~8月、幼生: 6~10月

大きさ 3~6cm程度



♪背中に細長い多数のイボが目立つ。

♪後足は黒いしま模様がある。

幼生



♪目玉に十字の模様がある。

♪幼生越冬もするため、冬~春に見られることもある。

アズマヒキガエル **外来種**

場所 市内では北部や南区・清田区の一部 (石狩川や茨戸川周辺と北ノ沢・有明・真栄周辺)

時期 卵: 4~5月、幼生: 5~7月

大きさ 4~16cm程度



♪目の後から脇腹に向かって黒っぽい太い線。

♪目立つイボから毒を出す。

幼生



♪黒く模様もない。変態直前は2.5cmほど。

トノサマガエル **外来種**

場所 市内では主に東部の開けた湿地や河川周辺 (平岡公園・野幌森林公園・北海道大学など)

時期 卵: 4~7月、幼生: 6~8月

大きさ 5.5~9cm程度



♪背中中央に緑や白っぽい太い線がある。

♪目の後ろから背中に太い線がある。

幼生



♪変態直前は7cmほど。

※上記2種は、北海道生物多様性保全条例により野外に放つことは禁止されています。

写真・監修: 徳田龍弘

北海道内の両生類の情報は、ハーブソン Hokkaido (北海道爬虫両棲類研究会主催) で募集しています。参加方法やこれまでの結果は、案内パンフレットや下記のサイトを見てください。

<https://koke-koke.com/Kamui/Herpthon>



川の魚のなかま1

※「大きさ」は頭の先から尾の先まで

魚のなかまには、上流の水の流れの速い川にすむものと、下流や池のような流れの少ない場所にすむものがあります。あみで川岸をさぐってつかまえたり、サケやサクラマスがのぼる秋に川岸や橋の上から観察してみましょう。見分け方は46・47ページを参考に。

👉 サケ (シロザケ) 🐟 ★★

場所 大きな川の中流 (豊平川・琴似発寒川・星置川など)

時期 成魚: 9~11月 稚魚: 3~6月

大きさ 65cm程度

♪川で生まれて海で育つ。



稚魚 (0才)



♪稚魚は春から夏にかけて集団で川を下る。

♪豊平川では人工的に稚魚を育てて川に返す活動に取り組んできたが、近年は自然にふ化した野生のサケを増やす取り組みも進めている。

👉 サクラマス (ヤマメ) 🐟 ★

♪サケのように海に下るタイプをサクラマス、川に留まるタイプをヤマメと呼んでいる。

♪市内の一部河川では稚魚の放流が行われている。

場所 サクラマス (降海型): 川の中流 (豊平川・琴似発寒川・星置川など)

ヤマメ (残留型): 川の中流・上流

サクラマス (遡上個体のホッチャレ)

時期 サクラマス: 9~10月、ヤマメ: 一年中

大きさ サクラマス: 50cm程度 (成魚)

ヤマメ: 10~20cm (成魚)



♪遡上個体にはピンク色の婚姻色が見られる。

♪市内の西側では小河川でも見ることができる。

にている種 ニジマス

ヤマメ



稚魚 (0才)



♪パーマークと呼ばれる大きな楕円形の模様が特徴。

指 アメマス  ★★★

稚魚 (0才)

場所 川の中流・上流

時期 一年中

大きさ 20~30cm
(成魚: 残留型)

♪ サクラマスと同様に降海型と残留型(エゾイワナ)がある。

♪ 体には小さい白いはん点があるのが特徴。



ニジマス  ★★★

外来種

場所 川の中流・上流 (豊平川水系・新川水系・厚別川水系など)

時期 一年中

大きさ 20~50cm (成魚)

♪ 背びれに黒い斑点がある。背側の黒い斑点もヤマメに比べて多い。



指 スナヤツメ  ★★★

場所 川の中流・上流

時期 成魚: 6~7月、幼生: 一年中

大きさ 10~20cm (成魚)

♪ 幼生時代は「アンモンシーテス」と呼ばれ、目が体皮におおわれていて、ほとんど見えない。

♪ 成魚の寿命は短く、繁殖時期のみしか見られない。

♪ 幼生は砂泥の中、成魚は繁殖時期に砂れきの河床に見られる。

♪ 口はあごがなく吸盤状。



♪ “八つ目”の名前の由来である7つのエラが目の横にならんでいる(➡)。

ウグイ  ★

場所 川の下流~上流

時期 一年中

大きさ 20~30cm (成魚)

にている種

エゾウグイ
ジュウサンウグイ


♪ 上流から下流までさまざまな環境で見られる。

♪ 幼魚は銀色で光沢がある。



♪ 春の繁殖期には、体に3本の赤い線を持つ体色に変化する。

川の魚などのなかま2

 ※「大きさ」は頭の先から尾の先まで

エゾホトケドジョウ ★★★★★

場所 小河川の細流など  ♪湿地内を流れる水の冷たい水流などに多い。

時期 一年中

大きさ 7cm程度

♪国内では北海道のみに分布。

♪ヒゲは8本

♪オスには体に黒い太い線が入る。

♪体型はずんぐりしている。

♪尾びれの先は少し丸い。



フクドジョウ ★

場所 川の中流・上流  ♪川底に砂れきの多い場所を好む。

時期 一年中

大きさ 15cm程度

♪国内では北海道のみに分布。


♪ヒゲは6本。

♪環境によって模様の変異が大きい。

♪尾びれの先はまっすぐ。



ドジョウ ★★ 移入種

場所 川の下流・池や沼  ♪川底に泥の多い場所を好む。

時期 一年中

大きさ 15cm程度

♪ヒゲは10本。

♪腸で呼吸するため、ときどき水面に出て空気を取り込む。

♪尾びれの先は丸い。

♪元々北海道にはおらず移入した魚と考えられていたが、現在は移入種と在来種に区別する説もある。



ハナカジカ ★★

場所 川の上流 (川底に砂れきの多い場所)

時期 一年中

大きさ 10cm程度 (成魚)

♪一生を川で過ごす。

♪大きな胸びれが特徴で、頭も大きい。



♪川底でたたくみ、エサが流れてくるのを待つ。体は保護色になっている。

♪腹びれは2つに分かれる。

★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

ニホンイトヨ ★★★

場所 川の中流

時期 5~6月

大きさ 7cm程度



♪背びれのトゲは3本。

♪川で生まれた稚魚は初夏に海に下り、次の年に川にもどる。

エゾトミヨ ★★★★★

場所 下流の細流・池沼など

時期 一年中

大きさ 6cm程度

♪国内では北海道のみ分布。



♪背びれのトゲは10~13本。

♪オスは繁殖期(5~7月)には体は黒くなる。

♪体型は「トミヨ属淡水型」よりもずんぐりしている。

トミヨ属淡水型 ★

場所 中流・下流・池沼など

時期 一年中

大きさ 5~6cm程度



♪背びれのトゲは8~12本。

♪オスが植物片で球形の巣をつくり、子育てする。

♪オスは繁殖期(5~7月)には体は黒くなる。

♪細身の体型で、尾びれのつけねのくびれが大きい。

ニホンザリガニ ★★★★★

場所 沢の上流・湧水地

時期 一年中

大きさ 6cm程度

♪水温の低い環境を好む。

♪落ち葉を主食としている。

♪過去に比べて、数が減少している。



アメリカザリガニ 外来種

場所 下流・池沼(安春川・茨戸耕北川など)

時期 一年中

大きさ 10cm程度

♪水温の高い場所があれば越冬できる。

※北海道生物多様性保全条例により野外に放つことは禁止されています。2023年より「条件付特定外来生物」に指定されます。



モクズガニ ★★★★★

場所 川の下流から上流

時期 一年中

大きさ 甲幅 6cm程度

♪産卵のために海に下る。

♪川底や石のすきまを好む。

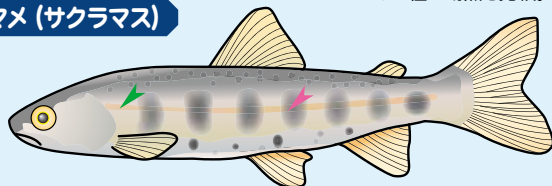
♪はさみや脚には、藻のようなやわらかい毛が密生する。



サケのなかまの見分け方

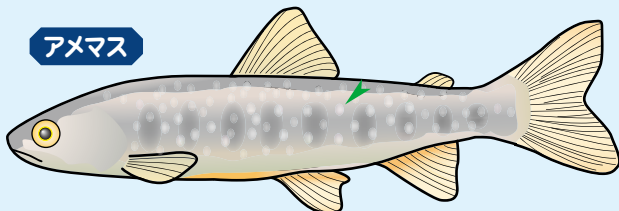
サケのなかまは、背びれの後ろの「あぶらびれ」とよばれる小さなひれが特徴。市内で見られるサケのなかまのうち、似ている4種の幼魚を比較。体の模様や背びれが見分けるポイント。

ヤマメ (サクラマス)



- ▶ パーマーク（楕円形の模様）がある。数は少なめ。
- ▶ 体の中央に、オレンジ色の線が入る。

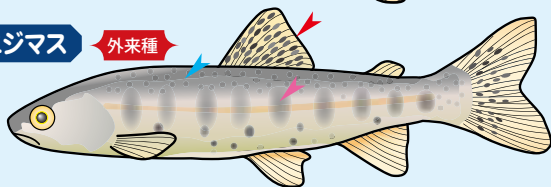
アメマス



- ▶ 体全体に白いはん点が目立つ。
- ※小さい個体にはパーマークがある。

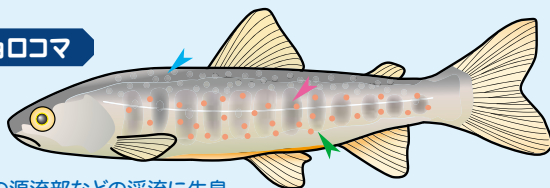
ニジマス

外来種



- ▶ パーマークがある。数は多め。
- ▶ 背中側には黒いはん点が目立つ。
- ▶ 背びれに黒い斑点がある。

オショロコマ



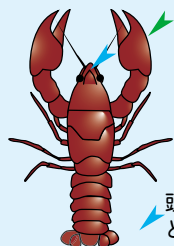
- ▶ パーマークがある。数は多い。
- ▶ オレンジ色のはん点が目立つ。
- ▶ 背中側には白いはん点がある。

♪ 豊平川の源流部などの溪流に生息。

ザリガニのなかまの見分け方

ハサミや頭の形が見分けるポイント。

ニホンザリガニ



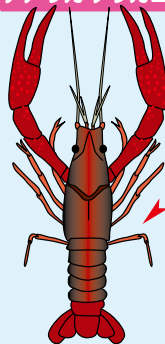
はさみは太くて短い。

頭の先には短いとっきが一つある。

※全長 6cm 程度。

アメリカザリガニ

外来種



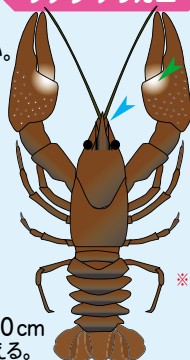
はさみは細長い。トゲがある。

体色は赤みが強い。

※全長 10cm 程度。

ウチダザリガニ

外来種



はさみは太い。付け根は白い。

頭の先は三つのとっきがある。

※全長 10cm を超える。

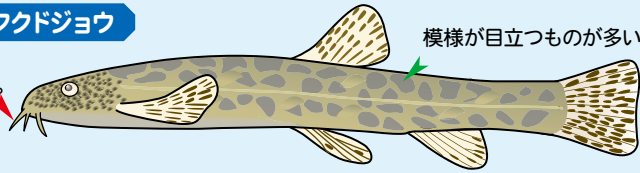
※外来生物法に基づく「特定外来生物」に指定され、許可なく飼育や移動することは禁止されています。

ドジョウのなかまの見分け方

ドジョウは細長い体形とヒゲが特徴。市内に3種が生息。ヒゲの数や、尾びれの形などが見分け方のポイント。

フクドジョウ

ヒゲ6本。

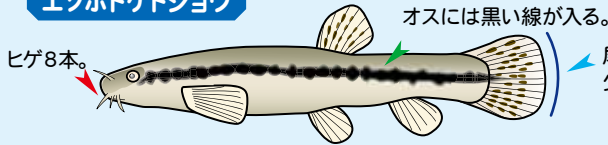


模様が目立つものが多い。

尾びれの先はまっすぐ。

エゾホトケドジョウ

ヒゲ8本。



オスには黒い線が入る。

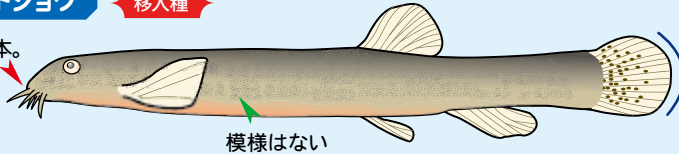
尾びれの先は少し丸い。

体は小さめ

ドジョウ

移入種

ヒゲ10本。



尾びれの先は丸い。

模様はない

トゲウオのなかまの見分け方

トゲウオは、背びれがトゲ状になっているのが特徴。市内には3種が生息。背びれの数や長さ、体形が見分け方のポイント。

トミヨ属淡水型

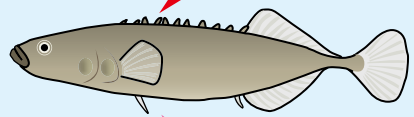
背びれのトゲは8-12本。トゲは長い。



ほそみの体形
オスは繁殖期に黒くなる

エゾトミヨ

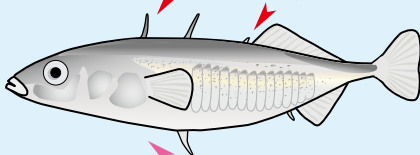
背びれのトゲは10-13本。トゲは短い。



ずんぐりした体形。
オスは繁殖期に黒くなる。

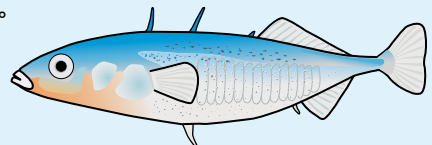
ニホンイトヨ

背びれのトゲは3本。一番後ろのトゲは短い。



体は大きく太い。

ニホンイトヨ (繁殖期のオス)



繁殖期のオスは、体の上半部分が青く、のど元はオレンジ色になりきれいな体色になる。

その他の指標種

ここでは、その他の指標種 8 種について紹介します。

ヒグマ (エゾヒグマ)

場所 森林や林縁

時期 一年中 (積雪期は冬眠している)

大きさ 約150～200cm

♪国内最大の陸上ほ乳類で、森林環境を代表する動物。市内では、南区・西区・手稲区などの山地で目撃されることが多い。



フクロウ (エゾフクロウ)

場所 自然林の林内

時期 一年中

大きさ 約 50cm

♪ネズミなどを食べる猛禽類で、樹洞に巣をつくる森林環境を代表する野鳥。

♪夜に行動するが、昼に樹上で寝ている姿もよく見られる。



カワセミ

場所 河川や池の周辺

時期 5～10月

大きさ 約17cm

♪背中青色、おなかのオレンジ色があざやかで、黒く細長いちばしを持つ。

♪水中に飛び込んで魚などをつかまえる。



ニホンカワトンボ

場所 れきのある溪流

時期 成虫は6～7月

大きさ 約4～6cm

♪緑色の体で光沢がある。オスは成熟すると白い粉をふき、オレンジ色のハネを持つものがある。



♪このトンボは19～21ページで紹介したトンボとは異なり、6月ごろに溪流で見られます。

オドリコンソウ

場所 森林や草地

時期 5～6月

大きさ 高さ約30～60cm

- ♪背の低い多年草でよく群生する。
- ♪花は特徴的な形で、葉の付け根に輪生してつく。色は白～ピンク色。



ネジバナ

場所 道ばたや土手の草地

時期 7～9月

大きさ 高さ約10～30cm

- ♪芝生の中などに混じって生えているランのなかま。
- ♪茎にねじれるように小さなピンク色の花が多数つく。



サワギキョウ

場所 水辺や湿地

時期 8～9月

大きさ 高さ約50～90cm

- ♪湿地に生育するが、市内では北区の一部の湿原や山岳地の湿原に限られ、少ない。
- ♪青色の花びらは、5つに深くさける。



ミスアオイ

場所 低地の水辺や水路など

時期 8～9月

大きさ 高さ約20～40cm

- ♪水辺や浅い水面にさく一年草で、生育場所は年によって移動する。
- ♪あざやかな青紫の花が目立つ。

